

生涯学習部の報告事項

1. 町田市教育委員会定例会

(1) 2022年度 第9回 定例会 (2022年12月22日)

<報告事項>

【図書館】

- ・報告事項7：南町田駅前連絡所の閉所に伴う予約資料受渡しサービス拠点の移転について

(2) 2022年度 第10回 定例会 (2023年1月13日)

<報告事項>

【生涯学習総務課】

- ・報告事項2：町田市立自由民権資料館・町田市考古資料室の展示リニューアルについて

【図書館】

- ・報告事項3：「ことばらんどショートショートコンクール2022」の実施報告について
- ・報告事項4：「浅野いにお展 -the personality of the city-」の実施報告について
開催期間：2022年10月22日（土）～2022年12月25日（日）
- ・報告事項5：「詩画家・森田MiWの絵とことば いとしきモノ展」の開催について
開催期間：2023年1月21日（土）～2023年3月19日（日）

(3) 2022年度 第11回 定例会 (2023年2月3日)

<議案>

【生涯学習センター】

- ・議案第33号：「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」の策定について

<協議事項>

【生涯学習総務課】

- ・協議事項2：町田市文化財保護審議会への諮問について

<報告事項>

【図書館】

- ・報告事項3：鶴川図書館の再編に関する説明会の開催について

(4) 2022年度 第12回 定例会 (2023年3月3日)

<議案>

【図書館】

- ・議案第47号：町田市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について

<報告事項>

【生涯学習総務課】

- ・報告事項6：「生涯学習及び図書館に関する市民意識調査」の結果について

【生涯学習センター】

- ・報告事項7：2022年度 学生活動報告会『ガクマチEXPO』の開催について
開催期間：2023年3月21日(火・祝)

(5) 2022年度 第1回 臨時会 (2023年3月31日)

<議案>

【生涯学習総務課】

- ・議案第50号：町田市教育委員会が管理する公の施設の指定管理者制度のガイドラインについて

(6) 2023年度 第1回 定例会 (2023年4月14日)

<議案>

【生涯学習総務課】

- ・議案第2号：町田市公立小学校PTA連絡協議会及び町田市立中学校PTA連合会の役員への感謝状の贈呈について

<報告事項>

【生涯学習センター】

- ・報告事項6：2022年度 学生活動報告会『ガクマチEXPO』の実施報告について
開催期間：2023年3月21日(火・祝)

【図書館】

- ・報告事項7：鶴川図書館の再編に関する説明会の開催結果について
開催期間：2023年2月8日(水)・2023年2月12日(日)

- ・報告事項8：「押し本を伝えよう！ひとことPOPコンテスト2022」の開催結果について

2. 町田市議会定例会

(1) 町田市議会3月定例会

<一般質問>

吉田 つとむ議員 (3月14日)

町田センタービルの行方について

- ・町田センタービルの空きの現状は
- ・町田センタービルと町田市の関係は
- ・町田センタービルの今後の展望は

(生涯学習部回答)

- ・原町田にある町田センタービルの6階から8階は町田市が区分所有し、町田市生涯学習センターを設置。そのほか、地下1階から地上5階は民間が区分所有。2023年2月末現在、3階から5階では、服飾店や美容サロン、シェアオフィスなどが営業しているが、部分的に空いている区画もある。また、1階、2階及び地下1階は全て空いている状況。
- ・町田市は町田センタービルの一権利者であり、町田市を含む全権利者により管理組合を設立。その管理組合が、エレベーターやエスカレーター等の共有部分の管理やビル全体のメンテナンスを行っている。
- ・6階から8階は、引き続き生涯学習センターとして運営するが、現時点においては、民間所有区画の今後に関する情報はない。

おぜき 重太郎議員 (3月16日)

「夕焼け小焼け」作曲100周年を活用した相原のにぎわいづくりについて

- ・中村雨紅について市民に知ってもらう機会を設けてはどうか。

市立図書館の電子書籍サービスについて

- ・電子書籍サービスを導入した経緯と目的は。
- ・現在の状況と課題は何か。
- ・利用者の反応は。
- ・電子書籍サービスをどこまで拡充していくのか。
- ・電子書籍サービスの導入によって、図書館はどのような変化があったか。
- ・町田市は図書館の将来像をどのように描いていくのか。

(生涯学習部回答)

- ・町田市民文学館では、「夕焼け小焼け」の作詞者である中村雨紅について、2009年に市民の皆さまと共に作成した「町田文学散歩マップ」の「相原・小山田篇」で取り上げるとともに、企画展の「まちだ文学さんぽ」において紹介したことがある。

今年は「夕焼け小焼け」作曲100周年であることを踏まえ、中村雨紅について、Twitterなどを活用し、情報発信などを検討。

- ・町田市立図書館では、2020年2月に策定した「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、社会のデジタル化に対応し、来館しなくても、いつでも、どこでもスマートフォンやタブレット、パソコンを利用して本を読むことができるよう、2022年10月に電子書籍サービスを導入。身近な図書館サービスをデジタル化することにより、ご高齢の方など、デジタルサービスに慣れて

いない方にも気軽に触れていただく機会をつくることができ、デジタルデバイドの解消にも寄与するものと考えている。

- ・町田市立図書館で利用できる電子書籍サービスのコンテンツ数は、2023年2月末時点で、2,930点、また貸出点数は、16,012点。電子書籍は、紙の本と比べて価格が高いことや、図書館向けのコンテンツ数が限られていることが課題だと認識。
- ・利用した方からは、「新しい世界が広がった」、「家に居ながらすぐに読めて便利」、「返す手間がかからないのが良い」などの声をいただいている。
- ・気軽に利用できる利点を活かして、読書を身近に感じてもらえるようなコンテンツの拡充を、利用状況を見ながら進めていく。
- ・来館しなくても利用できることから、新たな利用者の獲得につながっていると感じている。
- ・図書館では、司書が専門性を活かし電子書籍のコンテンツ選定や紹介。今後、社会のデジタル化が一層進んだとしても、こうした司書による情報提供は必要であると考えている。町田市立図書館としては、社会のデジタル化に対応をしながら、魅力ある情報やコンテンツを提供し、あらゆる市民が利用しやすい図書館を目指していく。

田中 美穂議員（3月16日）

鶴川図書館の図書館としての存続を求めて

- ・2月の説明会の内容について問う。また、参加者からどのような意見が出されたか。
- ・図書館としての存続を求めるがどうか。

（生涯学習部回答）

- ・2023年2月8日と12日に開催した鶴川図書館の再編に関する説明会では、これまでの経緯や、今後の方向性として図書提供機能とコミュニティ機能を併せ持つ民設民営の図書コミュニティ施設へ転換していくことなどを示した。参加者からは、「公立図書館として残して欲しい」、「鶴川図書館が再編の対象となった根拠が分からない」、「民営化された後の継続性について不安である」、「是非地域住民として運営に参加したい」、「時代に合った形に変えていくべき」など、様々な意見が寄せられた。
- ・説明会で示した今後の方向性のとおり、鶴川図書館は、図書提供機能とコミュニティ機能を併せ持つ民設民営の図書コミュニティ施設へと転換していく。

笹倉 みどり議員（3月16日）

町田市生涯学習センターの充実を求めて

- ・市民の学びについてどう考えていくのか。
- ・町田市生涯学習センターと公民館の役割について
- ・「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」が示されたが、事業縮小ではなく、充実したものになるよう求めるがどうか

（生涯学習部回答）

- ・教育委員会では生涯学習審議会の答申を受け、2022年2月に「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」を策定した。この方針の中で、生涯学習センターの目指す姿として、「1 市民がいつでもどこでも学ぶための情報を得ることができる環境がある」、「2 多様な市民が地域や時間の制約なく学んでいる」、「3 市民が学んだ知識を自身の生活に活かすことができている」の3つを掲げている。生涯学習センターでは、これら目指す姿の推進に取り組んでいく。

- ・2012年4月に設立した町田市生涯学習センターでは、まちだ中央公民館が行っていた講座・イベント事業の実施及び施設貸出に加えて、関係機関との総合調整や情報収集・情報発信などの生涯学習支援を行っている。
- ・あり方見直し方針で定めた目指す姿を実現するため、教育委員会では2023年2月に「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」を策定。この実行計画では、事業運営の見直しの考え方と管理運営体制の見直しの考え方を示している。事業運営の見直しでは、まず、「学びの裾野を広げる」、「誰もが学べる環境をつくる」、「学びを深め、活かす」、「学びのネットワークづくりを促進する」の4つの役割に整理し、例えば、学びのきっかけとなるような講座の充実や、学びに支援が必要な方が公平に学習することができるような学習機会の充実、さらに、市民企画や参画型の事業の推進、大学などの教育機関と連携した市民の学習環境の拡充などに取り組んでいく。また、管理運営体制の見直しでは、民間のノウハウが活かせる機能を整理し、業務委託範囲の拡大などに取り組んでいく。市民の生涯学習機会を充実させるため、この実行計画を推進していく。

今村 るか議員（3月20日）

文化・芸術・社会教育施設等をどう活かすのかを問う

（生涯学習部回答）

- ・町田市教育委員会では、2016年8月に生涯学習審議会に「今後の生涯学習施策のすめ方について」を諮問し、今後の生涯学習行政の役割や生涯学習施設の取り組むべき課題等についてまとめた答申を、2018年3月に受けた。

その後、図書館、文学館、自由民権資料館のあり方についても、生涯学習審議会からそれぞれ答申を受け、2019年2月には、「町田市立図書館のあり方見直し方針」及び「町田市民文学館のあり方見直し方針」を、2020年2月には、「町田市自由民権資料館のあり方の見直し方針」を教育委員会で策定し、その方針に基づきこれまで取り組みを進めてきた。

文学館では、子ども向け事業や中高生から20歳代の若い世代を対象とした事業を充実させる取り組みとして、2021年から小・中・高校生を対象とした文学賞の「ことばらんどショートショートコンクール」を新たに始めた。また、「文学」の概念の拡大や柔軟で質の高い「文学館」を目指すため、2021年には「ZARD／坂井泉水 こころに響くことば」展を開催するなど、「ことば」をテーマとした多様なジャンルを取り入れた事業を展開している。

また、町田市の考古・歴史・民俗資料をインターネット上で見ることができる「町田デジタルミュージアム」を2022年4月から公開したことも踏まえ、自由民権資料館では、この「町田デジタルミュージアム」と連動した展示として、3万年の町田の歴史を紹介する「町田の歴史」の常設展を2023年2月から新たに開始。

一方、図書館では、2022年4月から鶴川駅前図書館に指定管理者制度を導入し、開館日時を拡大するなど、民間活力導入によるサービスの向上を図ったほか、「町田未来づくりビジョン2040」の実行計画である「町田市5カ年計画22-26」で定めた重点事業プラン「新たな図書館様式の推進」に基づき、電子書籍サービスを開始。同じく重点事業プラン「ワタシが主役の図書館づくりの推進」に基づき、鶴川図書館を市民協働運営へ転換するための取り組みを進めている。

図書館、文学館、自由民権資料館では、今後も、それぞれのあり方見直し方針、及び、重点事業プランに基づき、取り組みを推進していく。

藤田 学議員（3月22日）

町田市生涯学習センターの目指す姿は

- ・町田市生涯学習センターの目指す姿は
- ・町田市障がい者青年学級の今後について

（生涯学習部回答）

- ・町田市生涯学習センターは、2012年の設立当初から市民の学習拠点として町田市の生涯学習の推進役を担ってきた。その後、市民の学びに関するニーズが一層多様化する中、町田市生涯学習審議会や生涯学習センター運営協議会などから役割や施策の進め方などについて指摘を受けた。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により世の中のデジタル化が急速に進み、デジタルデバイスなどの社会的課題が浮き彫りになった。これらの課題に対応するため、生涯学習審議会から「町田市生涯学習センターに求められる役割について」、「今後の町田市生涯学習センターのあり方について」の2つの答申を受け、2022年2月に「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」を策定。

方針の中で、生涯学習センターの目指す姿として、「1 市民がいつでもどこでも学ぶための情報を得ることができる環境がある」、「2 多様な市民が地域や時間の制約なく学んでいる」、「3 市民が学んだ知識を自身の生活に活かすことができている」の3つを掲げている。方針で定めた目指す姿を実現するため、教育委員会では2023年2月に「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」を策定。

- ・障がい者青年学級は、1974年に開設し、約50年継続している事業。障がいのある青年たちが、青年たち同士、あるいは地域住民や学生といった様々な人々と交流し、音楽・スポーツ・演劇・創作などの集団活動を行うことにより、生きる力・働く力を獲得することを狙い。開設当時は、障がいのある青年たちが、学校を卒業しても職場に定着することが困難であり、転職を繰り返したり、退職後に、在宅を余儀なくされるという状況。そのため、障がい者青年学級を実施することで、障がいのある青年たちの暮らしを広げるための余暇活動の機会、また、学校卒業後における教育機会を確保してきた。現在、約150名が在籍し、およそ50名のボランティアスタッフが学級活動を支えているが、学級生の在籍期間の長期化や高齢化により、学級活動中に食事やトイレ介助の必要性が増している。また、学級活動を支えるボランティアスタッフが年々減少。

このような状況を踏まえ、障がい者青年学級の今後については、「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」において、2023年度から生涯学習センター運営協議会において障がい者青年学級や障がい者施設の関係者等からもご意見をいただき、持続可能な仕組みを検討。

<常任委員会>（3月10日）

- ・文教社会常任委員会 行政報告：「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」の策定について

2022年2月に策定した「町田市生涯学習センターのあり方見直し方針」に基づき、町田市生涯学習センターの具体的な事業の整理や運営の見直しを行うため、「町田市生涯学習センター運営見直し実行計画」を2023年2月に策定した報告。

- ・文教社会常任委員会 行政報告：鶴川図書館の再編に関する説明会の開催について

町田市立図書館では、将来に渡り町田市の図書館サービスを継続していくために、「町田市公共施設再編計画」及び「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」に基づき、鶴川図書館の再編の検討を進めている。地域の方々からのご意見を踏まえてまとめた鶴川図書館再編の方向性について、地域の方々へ説明した報告。